

市長 1 期 4 年間の実績

○シティーセールスの推進

- ・第 6 1 回愛知県消防操法大会（H28 年度開催）を誘致し消防学校で開催決定
- ・全国植樹祭（H31 年度開催）の森林公園開催の誘致活動を実施
- ・地域間交流の促進
 - 輪島市との交流から千枚田田植え・稲刈りツアー、田んぼイルミネーションが実現
 - 三春町との交流から、日本三大桜の三春滝桜の子孫樹の寄贈を受け維摩池に植樹
- ・協定、連携を積極的に推進
 - 大学（名古屋産業・経営短期大学・愛知医科大学）、企業（MIZUNO(株)・大塚製薬(株)）、
防災関係、健康関係等
- ・あさぴー田んぼアートを継続実施
 - 青森県田舎館村から修学旅行生来訪、読売新聞全国版に掲載
- ・A E D の導入推進
 - 市内全コンビニエンスストアへ設置し報道多数、全国初の携帯アプリ実証実験実施
- ・市役所庁舎ロビーでの特産品、障がい者施設の物品等販売
- ・県内でも有数の望遠鏡を備える天体観測室の整備着手
- ・全国の自治体として初めて、軽度認知障害の早期発見のためのチェックテスト「あたまの元気まる」導入
- ・吉賀池湿地の一般公開日を拡充
 - 来場者が大幅に増加し、他県からも来場者あり

- ・ とうだん亭の一般公開を積極的にPR
- ・ 積極的な情報提供の実施
 - 新聞、雑誌への掲載、予算の編成過程を見える化
- ・ あさび—facebook、Twitter、LINE の立ち上げ

○子育て支援の充実

- ・ 保育園の未満児定員増
- ・ 保育士を増員
- ・ 藤池保育園で障がい児のサポート保育を開始
 - これまで預かっていなかった肢体不自由児を預かるように
- ・ 川南保育園の建て替え、子育て支援センターを併設、預かり時間を延長
 - 量と質の両立を目指す施策を推進
- ・ 保育園駐車場整備（西山、本地ヶ原）
- ・ 保育園の保育室全室にエアコンを整備
- ・ 保育コーディネータを市役所内に設置
- ・ 全小学校区に児童クラブを設置
- ・ 児童クラブ（三郷、本地）の19時までの開設時間延長
- ・ 子育て支援講座等における託児の充実
 - 託児ボランティアの窓口を一本化し、謝礼をお出しするように
- ・ こどもの発達センター「にこにこ」を開設し、医師等の専門家による相談日を拡充
- ・ 市独自の私学修学支援制度を創設

○頑張る人を応援

- ・消防団分団車庫建て替え（4分団，3分団）
→6分団車庫の建て替えについても検討を開始
- ・尾張旭青年会議所による森林マラソンの開催を支援
- ・中央公民館に展示スペースを新規に設置（現在工事中）
- ・後継者育成のため、指定無形民俗文化財の打ちはやしとざい踊りのDVDを作製
- ・公民館に校区担当職員を配置し、自治会等の活動を支援
- ・消防団応援事業所制度を開始
- ・全国大会や国際大会に出場した市民に報奨金
→スポーツ部門は増額し、新たに文化部門を対象に
- ・各種団体や企業活動等の現場訪問を多数実施
- ・最低制限価格下限の引き上げ
- ・市内企業への発注が可能なように分割発注を推進
- ・自治会加入キャンペーンを実施

○ファシリティマネジメントの推進

- ・インフラを含む施設の台帳化、公会計化推進
 - ファシリティマネジメント導入基本方針を策定
- ・市民会館を廃止し市役所庁舎／中央公民館へ移転
 - 貸館以外の機能は全て既存の施設に移転し、新規の建物建設は認めず
- ・一方で、多世代交流館いきいきや城山コミュニティセンターを建設
 - 多世代の交流を促進
 - 今後は、統廃合や多機能化で総量削減へ
- ・平子町北地内市有地利活用懇談会を立ち上げ

○災害対策の推進

- ・防災訓練をショー的なものから実践的な訓練へと変更
- ・小中学校の校舎・体育館で非構造部材を含めた耐震化推進
- ・より詳細なハザードマップを作製し全戸に配布
- ・防災行政無線が受信可能な防災ラジオを、希望者に廉価で販売
- ・災害対応車両を導入（回転灯、放送設備を備えた4WD車）

○議会对応

- ・第5次総合計画の策定にあたり全議員から意見を徴収
- ・子ども議会を議場で実施
 - 子ども議員から提案のあった内容について一部実現

○要望対応

- ・あさぴー号の運行体制見直し、新規車両購入
 - 要望の多かった日・祝運行、1時間に1本、定期券の導入、をH28より実施
- ・文化会館大ホールトイレの洋式化
- ・市役所駐車場の改修（屋根設置、段差解消、EV充電設備設置）
- ・南グランド周辺の整備（駐車場入口、アクセス道路）
 - 現在、道路を拡幅しつつ、カーブを緩やかにする工事を実施中
- ・公民館での図書取次開始、月に2回月曜日を開館日に
 - 図書館利用者の利便性を向上
- ・期日前投票を市役所庁舎1階ロビーで実施
 - 2階まで上がる必要がなくなり、高齢者や障がいをお持ちの方に優しく
- ・小中学校へのエアコン設置検討
- ・プラスチックゴミの週1回収の試行を開始
- ・自治会等による防犯カメラ設置補助制度を創設
- ・ふるさとハローワークを開設
 - 生活困窮者の相談窓口と密接に連携が取れる体制に

- ・電子黒板、書画カメラ、タブレット端末を小中学校に導入
- ・尾張旭駅のタクシー乗り場にスロープ設置
- ・尾張旭駅前広場に電源を設置しイベント開催に対応
- ・旭駅前広場の電源の容量をアップしイベント開催に対応

○懸案事項の推進

- ・霞ヶ丘線整備のさらなる推進
- ・土地区画整理事業のさらなる推進
- ・三郷駅前広場ワークショップの推進
 - 整備案について叩き台となる具体的な図面が完成
- ・旭前駅/印場駅バリアフリー化について名鉄と協議開始
 - 旭前駅についてはおおむね図面が確定
- ・狭あい道路拡幅整備に対する奨励金制度創設
 - 区画整理によらない街路整備の推進

○財政体質の強化

- ・関係部署等への要望活動を積極的に実施
- ・P P Sの導入で公共施設の電気料金を削減
- ・公共施設の屋根貸し事業を開始（H28年度から）
- ・横断歩道橋のネーミングライツを開始
- ・土地開発公社からの土地の買い戻しを推進（H29年度解散を目処に）

- ・当初予算の編成過程を公開

○現代の課題への対応

- ・太陽光発電システム導入（民間への補助制度拡充、蓄電池付き設備を導入）
- ・タブレット端末の導入により幹部会等の会議のペーパーレス化を推進
 - 紙の使用量を大幅に削減
- ・禁煙／分煙対策を実施
 - 喫煙所を集約しJTより設備を寄贈していただいた
- ・（はいかい）高齢者見守りシステムを導入
- ・係長級以上への女性職員の積極的登用実施（登用率は上昇）
- ・庁内の会議体に女性職員の積極的な参画を推進
- ・行政委員会／各種審議会等への女性委員の積極的な登用（県下でも高いレベル）
- ・中学生／高校生向けにスクエアドストレート型自転車交通安全教室を開催
- ・庁舎内に障がい者基幹相談支援センターを開設
- ・子どもの読書通帳を作製し子どもに配布
- ・庁舎1階窓口の改修、中庭を多世代の休憩スペースに改修
 - 来庁者に分かりやすい窓口とし、一部手続きをワンストップ化

○将来に向けた対応

- ・買い物弱者対策として青空市の開設

→尾張東地方卸売市場のご協力をいただき、瑞鳳地区で月2回、旭丘地区で月1回

- ・空き家の実態調査を実施
- ・墓園のあり方を検討
- ・少年少女消防団の設置

→減少する消防の担い手を長期的な視点で育成

- ・東中/西中のエレベータを改修し、バリアフリー対応に
- ・地域サロンの開設

→寄贈していただいた住宅を、地域の多世代の交流の場に

- ・地域の大人・子どもが一緒になって、50年ぶりに池こねを実施（濁池、長池）

○市役所内部

- ・どこの部にも属さない、部署横断的な組織を立ち上げ
- ・テーマごとにワーキンググループを設置し方針を決定（多世代交流館、禁煙・分煙、ふるさと納税等）
- ・ワーキンググループによる公用車集中管理と庁舎改修の報告書の内容にそって施策推進
- ・係長級以下の全職員とのクロスミーティングを実施し、改善提案を拾い出し
→今後ワーキンググループを立ち上げへ
- ・朝会夕会の開催で部署内の情報共有推進
- ・市長にe-対話、便り対話を継続実施